

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域役員からラジオ体操やふれあい喫茶などが開催できるようになれば良いとの要望もあり、感染症対策に留意しながら、地域活動である清掃活動や地域訓練などに関わるなど、地域交流を深める取り組みが必要。	感染症に留意しながら地域との交流が少しでも増えるよう意識を変え、少人数でも参加をしていける体制を構築していく。	地域とのふれあいが希薄になっている為、感染対策を行いながら地域行事に少人数から参加するように努めていきたい。また、ホームでは外出の機会を継続し、地域へ足を運ぶ体制づくりを増やすよう取り組んでいきたい。	12ヶ月
2	35	火災を想定した避難訓練だけでなく地震に備え、設備の安全確認や訓練を取り入れるとともに地域との協力した災害対策の取り組みが必要。	利用者の安全確保と安定した事業が継続して運営できるよう地域との協力体制を構築していく。	建物内や生活範囲における危険個所の把握と対策。地元の消防団等に入居者数の報告をし、有事に協力してもらえるよう情報共有を行うようにしていきたい。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。